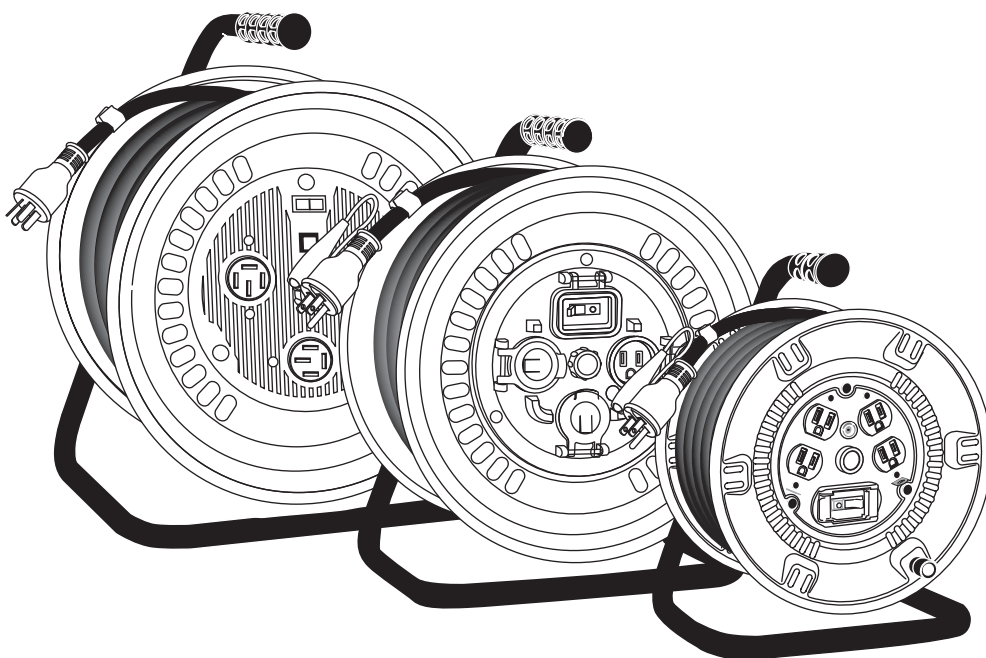




100V屋内型電工ドラム／屋外型電工ドラム
200V屋内型電工ドラム／屋外型電工ドラム
(アース・漏電しゃ断器付)

【取扱説明書】

この度は、日動工業の電工ドラムをお買い上げいただき、厚くお礼申し上げます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、本製品の内容と性能を
十分にご理解の上で、適切な取扱いと保守おこなってください。
また、取扱説明書はいつでも取り出せるよう大切に保管してください。



■目次

安全にご使用いただくためにつぎのことをお守りください <2>

⚠ 警告

⚠ 注意

【注】

電工ドラム各 부품の名称 <3>

各 부품の取り扱い、および注意事項 <4>

100V電工ドラム(ポッキンプラグ):[屋内型・屋外型]

電源ランプ

漏電しゃ断器

温度センサー(100V電工ドラムのみ)

安全に取扱いいただく為の点検マニュアル <5>

必ずご使用の前にお読みください

事業者の方へ

始業前点検

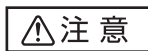
定期点検

安全にご使用いただくためにつぎのことをお守りください。



警告

感電事故など、使用者の生命や身体に危険がおよぶ恐れがある場合に、その可能性を避けるための注意事項



注意

誤った取扱いをしたとき、使用者に障害や物的損害のおよぶ恐れがある場合に、その可能性を避けるための注意事項

【注】

製品の取扱い、メンテナンスに関する注意事項

⚠ 警告

- ・アース(接地)は必ず接続してください。感電する恐れがあります。
- ・濡れた手でプラグの抜き差しをしたり、スイッチを操作したりしないでください。
- ・電線やプラグ、コンセントなど部品の損傷したものは、絶対に使用しないでください。感電する原因となります。
- ・電線を巻いたまま、定格以上使用すると電線が焼けます。定格はドラムの裏側に貼り付けてある、注意書をご覧ください。

■防雨型ドラムに対する警告

- ・本製品を接続する電気機器のプラグは防雨構造のものを差し込んでください。防雨構造以外のプラグを差し込むと、ドラム内部に水が入って感電する原因となります。
- ・使用しないコンセントには、防雨キャップを確実にかぶせてください。防雨キャップが不確実な場合は、ドラム内部に水が入って感電する原因となります。

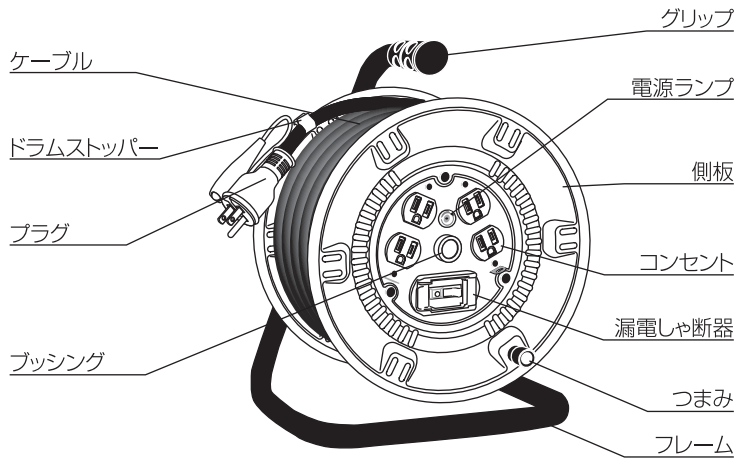
⚠ 注意

- ◎使用の際は、落下や転倒の恐れのない安定した場所に置いてください。
- ◎電線は人や運搬車などで直接踏まれるところでは使用しないでください。人が転倒したり、電線の断線やショートの原因となります。
- ◎ドラムの電線は黄色の引出し制限印以上は引出さないでください。制限印以上引出し、強く引張ると電線引出し口の所に負担がかかり、電線の寿命を短くします。
- ◎プラグをコンセントから抜く場合は、電線を引張って抜かないでください。プラグの付け根の断線やショートの原因となります。
- ◎プラグを抜き差しする場合は、必ず接続工具のスイッチを切(OFF)にしてからおこなってください。
- ◎プラグは、いつもきちんとコンセントに差し込んで使用してください。
- ※プラグが抜けかかっていると接触不良となり、熱を持ち危険です。

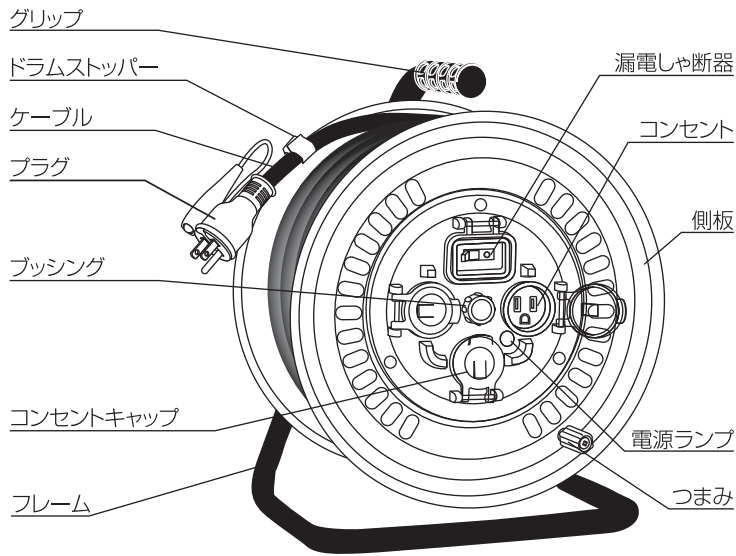
【注】

本製品は安全規格(電気用品の技術基準)に適合していますので、改造などしないでください。故障の際は、専門の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないばかりでなく事故やけがなどの原因となりますので修理は電気資格のある方に依頼するか、代理店へお申し付けください。この取扱説明書は全機種共通となっております。製品によっては温度センサー・漏電しゃ断器が付いていない機種がありますのでご注意ください。

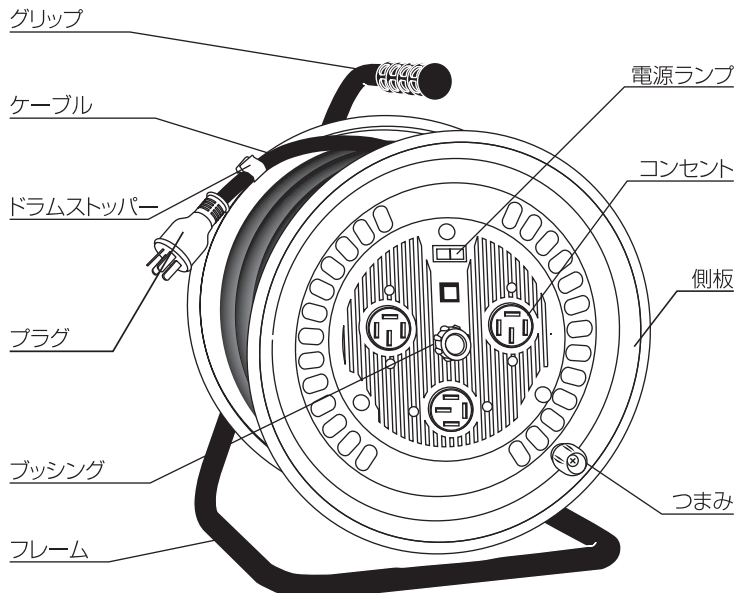
■各用品の名称



■100V屋内型
アース・ブレーカー付



■100V屋外型
アース・ブレーカー付



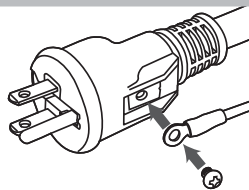
■200V屋内型
アース付

※機種により形状が異なり、漏電しゃ断器など付いていないものがあります。

■各部品の取り扱い、および注意事項

◎リペアポッキン(リペアポッキンドラムのみ)

断線したアース線の取り替えが簡単にできます。

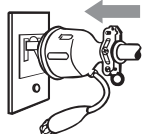


◎100V電工ドラム(ポッキンプラグ):【屋内型・屋外型】

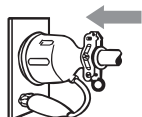
- ・屋外で使用する場合は、屋外用のコンセントプラグを使用してください。
- ・屋内のコンセントに差し込んで使用する場合は下記図のように差し込んでください。
- ・コンセントが、アース(接地)付き3Pの場合、そのまま差し込んでください。
- ・コンセントが、アース(接地)付きでない2Pの場合は下記の図に従ってください。



①コンセントの下部へアースピンを当てるようにコンセントへ差し込みます。



②アースピンが自然に倒れ込んでいきそのまま、差し込むとアースピンが収納されます。
※プラグは根元まで完全に差し込んでください。



③アースクリップは、コンセントのアース端子に挟んでください。コンセントにアース端子がない場合には、市販のアース棒などを使用してアースの接続をおこなってください。

◎電源ランプ

- ・コンセントに、プラグを差し込むと電源ランプが点灯し通電を知らせます。
- ・電源ランプが点灯しない場合は、電線に損傷(断線)がないか、元のコンセントに通電しているか確認してください。
- ・漏電しゃ断器付きの場合は、漏電しゃ断器が「切」になっていないか確認してください。

◎漏電しゃ断器

■漏電保護専用しゃ断器付の場合(ブレーカーラベルが緑)

漏電時、安全のために感度電流15mA以下で、0.1秒以内に通電をしゃ断します。

■過負荷漏電保護兼用漏電しゃ断器付の場合(ブレーカーラベルが赤)

漏電時、安全のために感度電流15mA以下で、0.1秒以内に通電をしゃ断し、過負荷保護15Aのブレーカー付は、電流が15Aを超えて使用すると作動します。過負荷保護20Aのブレーカー付は、電流が20Aを超えて使用すると作動します。

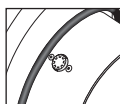
■超高感度(6mA)漏電しゃ断器付の場合(ブレーカーラベルが赤)

電流が6mA以下であれば0.1秒以内に元ブレーカー(15mA感度)より先に通電をしゃ断し、使いすぎ時には、電流が15Aを超えて使用すると作動します。

※漏電しゃ断器が作動した場合は、必ず作動した原因を取り除いてください。
原因を取り除かず、漏電しゃ断器のレバーを無理に入(ON)にしないでください。

◎温度センサー(100V電工ドラムのみ)

- ・電線温度が80度になると、温度センサーが作動して通電を停止します。



電線をすべて引出した巻胴に内蔵

※電源ランプが点灯していない場合はブレーカーが作動しています。
※温度センサー頭部はドライバーや硬いものなどで傷つけたり凹ませたりしないでください。作動なくなる原因となります。

安全に取扱いいただく為の点検マニュアル

必ずご使用の前にお読みください。

本書をよくお読みいただき、本製品の性能をご理解の上、正しく安全に末永くご使用いただけるよう、保守・点検をおこなっていただくための点検マニュアルです。
なお、この点検マニュアルは取扱説明書と一緒に、大切に保管してください。



本書で記載している内容は製品を安全にご使用していただくための点検マニュアルです。
故障等、修理が必要な場合は、専門の知識が必要となります。専門の知識を持たない方が修理をしますと、製品が十分に機能しない、また事故やけがの原因となるおそれがありますので、不具合や故障と感じた場合は、すみやかにお買上げの販売店または、弊社までご連絡ください。

事業者の方へ

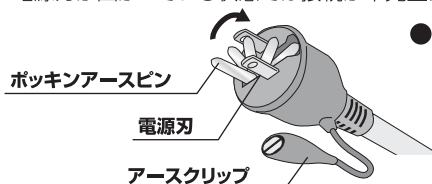
電工ドラムを取扱う方には本書内の安全な取扱いに関する内容をご理解いただき、適正な電気の知識をもって、正しい取扱いをしていただきますようお願いいたします。

始業前点検

ご使用前に必ずおこなっていただきたいこと

製品に異常が見られる場合は速やかに使用を中止し、修理依頼をしていただくか、弊社にご相談ください。

- 1 外観に使用上支障をきたすような損傷がないか確認してください。**
側板の変形や、防雨型キャップなどが破損していると、本来の機能を発揮できず、発火や感電など起こすおそれがあります。
- 2 コンセント・プラグに損傷・腐食・汚れ(付着物)などがないか確認してください。**
(刃受け部の損傷・ゆるみ、電源刃の曲がり等)
差し込み口にホコリが溜まっていたり、汚れているとショート、故障、火災、発火等を起こすおそれがあります。
コンセントへの差し込みが、ゆるんでいたり、すぐに抜けてしまうと発熱や焼損するおそれがあります。
電源刃が曲がっている状態では接続が不完全になり、発熱や焼損するおそれがあります。

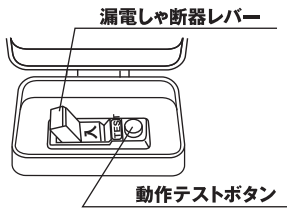


●ポッキンプラグの確認

- ・アースピンを指で押してピンが正常に倒れることを確認してください。
- ・アースクリップに裂けや割れがないことを確認してください。
- ・電源刃に曲がりや変形がないことを確認してください。

- 3 ドラムからケーブルを全て引出しているか確認してください。**
ケーブルを巻いたまま使用すると、ケーブルが発熱し、火災、故障の原因となるので必ず引き出してください。巻いたままでの定格は5A前後となります。本体銘板に記載しておりますので、ご確認ください。
- 4 ケーブルに傷・ひび割れ・膨れ・凹みがないか確認してください。**
ケーブル表面に傷などがついたまま使用すると、漏電、感電、短絡の原因となりますので使用しないでください。
- 5 電源ランプが点灯するか確認してください。**
電源ランプが点灯している時は正常に使用できる状態です。点灯しない場合は、ケーブルに損傷等異常がないか確認してください。プラグ→コンセント間の導通テストをおこなってください。導通のない場合は配線の内部で断線などがある可能性があります。すぐに使用を中止し、修理依頼をしてください。
- 6 ケーブルや本体が多湿なところに設置されていないか確認してください。**
水溜まりなど、水の中にはつけないでください。

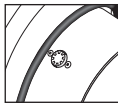
7 漏電しゃ断器付機種のみ 漏電しゃ断器の動作テストを必ずおこなってください。



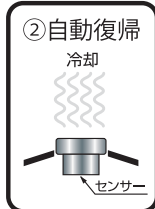
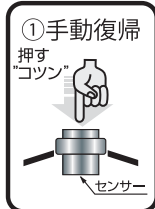
<動作テストの方法>

- ① 電工ドラムを電源に接続してください。
- ② 漏電しゃ断器のレバーを「入」にしてください。
- ③ 「テストボタン」を押してください。
- ④ 漏電しゃ断器のレバーが「切」になれば、漏電しゃ断器は正常に作動します。

8 温度センサー付機種のみ 温度センサーの熱感知部分に傷(凹み)がないか確認してください。



電線をすべて引出した巻胴に内蔵



傷(凹み)があると、温度センサーが正常に作動しない場合があります。
電線温度が80℃になると、温度センサーが作動して通電を停止します。
作動した場合は、左記の通り復帰してください。

- ① 手動復帰センサー…センサーを指や布などで冷やし「コツン」と音がするまで押し込むとセンサーが復帰します。
- ② 自動復帰センサー…センサーを指や布などで冷やすと自動でセンサーが復帰します。

復帰時の注意

- ・センサー頭部はドライバーや硬いものなどで傷つけたり凹ませたりしないでください。
 - ・センサーを復帰する際は、必ず接続している機器の電源を切ってください。
 - 復帰した際、急に動き出して危険です。
- ※温度センサーは直接触れても電気はきません。

定期点検 定期的に点検をおこなってください

お客様の使用環境、使用頻度に合わせ定期点検をおこなってください。

※点検内容によって専用の機器が必要になります。

1 ケーブル、プラグ、コンセントなどに使用上支障をきたす損傷などがいないか確認

2 内部配線にネジ・線の緩みや抜け、断線などがいないか確認

3 絶縁抵抗値が規定以上あるか確認

500ボルト絶縁抵抗計により測定した絶縁抵抗値5MΩ以上
(電気用品の技術基準附表第四より)

またはその他自主規定等によって定められた絶縁抵抗値以上

■絶縁抵抗測定方法

- ① 電工ドラムの機能、性能を確認する
 - ・電源ランプは付いているか。
※電源ランプがついている電工ドラムは、電源線間(充電部間)の絶縁抵抗測定は出来ません。
 - ・漏電しゃ断器は付いているか。
※漏電しゃ断器が付いている電工ドラムは必ず「切」にしてから絶縁抵抗測定をおこなってください。
- ② 電工ドラムのプラグのアースピンに絶縁抵抗計のアース極を、電源刃にライン極を当てて、測定をスタートする。
- ③ 反対側の電源刃も同様に絶縁抵抗計のライン極を当てて、測定をスタートする。
- ④ 合否判定を行なう。

4 絶縁耐力試験の実施

(100V仕様→1000V・1分間 200V仕様→1500V・1分間に耐えて各部に異常がないこと)

5 漏電しゃ断器、温度センサーの動作確認

○弊社の電動工具チェッカー(KM-110)を使用すると、アースチェック・短絡(ショート)・絶縁抵抗・導通が簡単にチェックできます

修理・点検・検査をご用命の際はご購入求めの販売店または弊社までお申し付けください。

販売元  **日動工業株式会社**

- 本社・工場 〒570-0002 大阪府守口市佐太中町6丁目47番7号
TEL.06 (6905) 6905 (代) FAX.06 (6905) 9788
- 札幌営業所 〒003-0822 札幌市白石区菊水元町二条2丁目3番1号
TEL.011 (871) 0577 (代) FAX.011 (871) 0579
- 東京営業所 〒135-0016 東京都江東区東陽4丁目8番14号
TEL.03 (5683) 4010 (代) FAX.03 (5683) 4021
- 名古屋営業所 〒454-0848 名古屋市中川区松ノ木町1丁目32番地2
TEL.052 (351) 3666 (代) FAX.052 (352) 7558
- 大阪営業所 〒570-0002 大阪府守口市佐太中町6丁目47番7号
TEL.06 (6905) 6905 (代) FAX.06 (6905) 9788
- 福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南4丁目17番32号
TEL.092 (474) 7955 (代) FAX.092 (474) 6329

日動ホームページ <http://www.nichido-ind.co.jp/>